

組織溶解液(SDS系) 調製プロトコル

組織溶解液(SNET)

原料試薬名	メーカー、Code	最終濃度 (溶解液中の濃度)	Total 10mL作成時 の使用量	Total 100mL作成時 の使用量
1mol/l トリス塩酸緩衝液(pH8.0) 容量1L	ナカライテスク Code:35435-11	20mM	0.2mL	2mL
0.5mol/l EDTA溶液(pH8.0) 容量1L	ナカライテスク Code:14347-21	5mM	0.1mL	1mL
5mol/l 塩化ナトリウム溶液 容量1L	ナカライテスク Code:31334-51	400mM	0.8mL	8mL
10% SDS溶液 容量100mL	ナカライテスク Code:30562-04	0.3%	0.3mL	3mL
dH ₂ O(蒸留水)	-	-	8.6mL	86mL

製造後、室温で保存する。

ProteinaseK溶液

原料試薬名	メーカー、Code	最終濃度 (溶液中の濃度)	Total 10mL作成時 の使用量
ProteinaseK(powder) 100mg	SIGMA Code:P6556(100mg)	10mg/mL	全量
dH ₂ O(蒸留水)	-	-	10mL

製造後、冷凍(-20℃)で保存する。

【使用方法】

組織溶解液(SNET)とProteinaseK溶液を以下の比率で混合して使用する。

組織溶解液(SNET) : ProteinaseK溶液(10mg/mL) = 50 : 1